

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	11	学校名	檀原高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	檀原市中高連携事業
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	総合的な探究（学習）の時間
連携・協働相手	檀原市教育委員会及び檀原市内中学校
地域と共有している目標・課題等	生徒の英語力・プレゼンテーション能力の向上 檀原市の魅力発見及び奈良県が抱える課題解決の提案
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>これまで本校生と檀原市内中学生が英語によるプレゼンテーションを行い、「檀原市の魅力」、「檀原市が抱える課題解決に向けた提案」などの内容について探究的な発表を行ってきた。例年、年度当初から教員間で打ち合わせを行い、それぞれの学校において英語プレゼンテーションに向けた準備及び指導を行い、プレゼンテーションの前には本校生徒が中学校を訪問し、中学生のプレゼンテーションを指導する機会をもってきた。</p> <p>今年度は中学校の教育活動全体の状況を踏まえ、より日常的な英語学習の充実を図りたいとの意向が示されたことを受け、高校生が中学の授業に入り、中学生の学びをサポートする事業に形を変え実施した。その際、中学校側と入念な打合せ及び教材の作成を高校が行った。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>今回の高校生の中学校訪問により、中学生は英語の知識や技能についての学びが深まり、高校生にとっても効率よく英語を指導するという取組について新しい学びがあった。また、地域の中学生との関わりをもつことで、高校がある地域の中学生の個々の学びや訪問した中学校が抱える諸課題等を意識する高校生が増加した。</p> <p>年度末に檀原市教育委員会、県教育委員会高校教育課を交えて次年度に向けた打合せを行ったが、本校としては次年度も基本的には英語プレゼンテーションを実施する方向で予定を進めているが、連携相手にも配慮しつつ、双方に負担が少ない方法で本事業を推進できればと考えている。次年度に向けて中学校側が希望する事業内容を聞き取り中であるので、その回答によって次年度の事業内容を決定し、これまで同様、関係者間で協議の上、この地域との協働推進事業が生徒はもちろん教員や地域にとっても有意義なものとなるよう、前向きに検討していきたい。</p>
